



桑野地域公民館だより

くわのみ

令和7年 2月号 文責：吾妻 敦
イラスト・4コマ漫画：渡部 義勝
本の紹介：高宮美智子
電話・FAX 934-3030

回
覧

くわの友・結学園 郡山女子大学 松田先生、幼児教育学科学生にご指導いただき、保育園児のクリスマスプレゼントを作成しました。そして、出来立てほかほかのプレゼントをその日に桑野保育所へ届けました。

12月初旬、桑野地域公民館主催で、隣接する桑野保育所園児への「クリスマスプレゼント作り」を24名の方に体験していただきました。

プレゼントの1つは、紙皿とペットボトルの蓋を利用した『サンタクロースのカスタネット』、もう1つはプラスチック製のカップに色紙などで作ったツリーと雪だるまを配した『スノードーム』です。園児用と自分用、それぞれ2つずつ作っていただきました。

サンタクロースのカスタネットでは、帽子や鼻、ひげなどが書かれている色紙をハサミでチョキチョキ。はじめは慎重だった作業も、みなさん慣れてきてどんどんスピードアップ。白い丸シールにマジックで瞳を書いて貼ってもらったところ。ウインクしていたり、まん丸だったり、それぞれの個性が伺える楽しい表情のサンタクロースがたくさん生まれました。最後はペットボトルの蓋を紙皿の裏に貼り付けて、みんなでカチカチ鳴らし、室内にカスタネット風の音と笑い声が響きました。

その後のスノードーム作りでは、細かい工程が増え、みなさん時間を忘れて無我夢中。ツリーには星形の黄色い色紙を貼り、銀色の毛糸を巻いて飾りつけ。雪だるまには、赤い帽子や青いマフラー、ニンジン色の鼻を貼り、こちらにもマジックで目や口を書いてもらいました。カップの上部にはキラキラモールと鈴をつけ、綿を雪に見立てて完成です。

「楽しかった!」「子どもにもどった気分だった!」などのうれしい感想をたくさんいただきました。保育所へのお届けにも同行させていただき、私たちも楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

講師：松田 理香さん



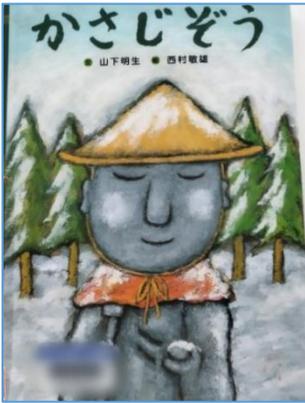
公民館より 今回地元在住の松田先生とは、この事業をきっかけに交流を深めることができました。今後も大学等の高等教育と連携し、公民館講座に取り入れたり、地区の文化祭に大学生の発表の場を設けたりして、公民館活動を充実させていきたいと考えています。松田先生お世話になります。

お詫び 松田先生と学生には原稿を12月にいただき1月号に掲載の予定でしたが、スペースの関係で2月号となってしまいました。大変申し訳ありませんでした。

かさじぞう

ぶん：やました はるお え：にしむら としお

雪が、おじぞうさんの あたまに おちかかりました。
「やれ、つめたかろう。どうぞ これを つこうてください」
おじいさんは、かさを 1つ おじぞうさんに かぶせました。



『かさじぞう』は、年越しにまつわる日本昔話の有名なお話しのひとつですね。
教科書やいろいろな場所で語られているので、ご存じの方も多いかもかもしれません。

おじいさんは、今年こそ良い年越しをしようと、町に作った笠を売りに行きますが、全く売れません。おばあさんをお願いされた手ぬぐいだけは何とか手にすることができ、帰ろうとしますが、帰る途中、雪にまみれたおじぞうさんを見かけると・・・

おじいさんの見返りを求めない純粋な優しさと、それを受け入れるおばあさんの大きな心にふれることができ、自分も改められるような気持ちになります。

とても優しい心になれるお話なので、眠る前の読み聞かせにもおすすめです。
みつけたら、よんでみてください。

くわのっ子スクール ～冬休みの宿題応援「書初め教室」～

本年も、くわのっ子スクール「書初め教室」作品制作のお手伝いをさせていただきありがとうございました。3年生から6年生まで元気な児童と過ごした3時間。子ども達のキラキラした目、書に向き合っている姿、たくさんのパワーを私にいただきました。最初に書いた字と、数枚書いた字の違いを実感していた児童、時間いっぱいまで、ていねいに仕上げている6年生の姿をみて、とてもうれしくなりました。公民館の皆様、子ども達に感謝申し上げます。



定期的にペン字、毛筆の指導をさせていただいていますが、私自身も別な講座に生徒として参加しております。指導者として「心」ある指導ができるように日々努力していきたいと思っております。

講師：大河原 里美さん

書初め教室で、子ども達の作品づくりのお手伝いをさせていただきました。心配された雪も降らず、予定通り行うことができました。子ども達も予定時間前にはすっかり準備を整えていてやる気に満ちていました！



筆の持ち方、墨のつけ方、字の形、大きさなどいろいろと気をつけることがたくさんあります。少しアドバイスするだけで字が太くかけたり、形が整ってきたりと変化がみられとてもやりがいを感じました。集中して書くことができたのか予定より早く清書を仕上げた子や、自分の納得のできる作品ができるまで焦らずしっかり書き上げた子など、様々でしたが、どちらも満足できたのではないかと思います。これをきっかけに習字や文字を書くことが好きになってもらえたらうれしいです。

私は、所属している全日本書芸文化院に課題を送ったり、書道展に作品を出しています。そして、正月はやっぱり書き初めを書いています。少しでも上達できるように精進していきたいと思っています。そしてまた、書き初め教室ではみなさんにお会いできると嬉しいです。講師：小林 圭子さん

くわのっ子スクール ~冬休みの宿題応援「書初め教室」~

書初め教室に参加いただいたみなさんのお手伝いをさせていただき、あっという間の3時間でした。

主に3年生、4年生を担当させていただきました。まずは、筆の持ち方、墨の付け方や量を確認し、その違いを実感してもらう。次はお手本を見ながら1文字のバランスや大きさを確認、名前の練習を経て完成に至りました。皆さんは素晴らしい集中力を発揮し、注意したことを忘れずに、書かたびに線がよくなり、今できる全力を出し、ほとんどの皆さんが納得いく作品を完成させたことと思います。

「書」とは、書くことで文字の美しさを表すことです。とはいえ、毎日筆や筆ペンで文字を書く、練習する機会はなかなかありません。そのためには、心を落ち着かせ、一文字一文字に集中することが大事になります。皆さんはきちんと取り組み、その姿勢が作品にあらわれたのだと感動しました。

今回は、皆さんのお手伝いさせていただく機会をいただきましてありがとうございました。文字を書かず、打つことが日常の今、書くことの素晴らしさを改めて感じ、勉強になりました。素敵な時間をありがとうございました。 講師:五十嵐奈美さん

※ 書き初め教室の様子は、桑野公民館 Instagram から動画等でご覧いただけます。ぜひ視聴ください。



4コマ漫画コーナー担当
渡部さんの作品を紹介します



桑野地域公民館主催事業・共催事業の紹介

- ① 第15回桑野地区「少年・少女の主張」発表会(11/24)
「今、思っていること。今、伝えたいこと。小学生の私だから中学生の私だから、形にできる思いがある。」



【優秀賞】桑野小 古内 栞菜さん・六中 佐藤 美架さん

② 子ども達の居場所

公民館では地域の子どもたちが参加する事業を多数開催しています。また、子どものあそびや体験活動、多様な人との関わりという面から見ても子どもと公民館とのかかわりは欠かせないものです。

